

NEC がアレイコム の物理層ベースバンドソリューションを実装した

WiMAX 基地局を UQ コミュニケーションズに納入

～NEC の PasoWings BS202 基地局が商用ネットワークで稼動を開始～

* 2010 年 4 月 5 日に米国で発表されたプレスリリースのアレイコムによる抄訳です。

2010 年 4 月 5 日 米国 イリノイ州オオックブルック

ArrayComm LLC(本社 米国イリノイ州、社長 ブルース・ダイセン、以下 アレイコム)の高度なマルチアンテナ信号処理技術(A-MAS™)を含む物理層ベースバンドソフトウェアを実装した日本電気株式会社^{注1}(以下 NEC)の基地局が、UQ コミュニケーションズ株式会社^{注2}(以下 UQ コミュニケーションズ)に採用されました。

アレイコムはマルチアンテナ信号処理ソフトウェア A-MAS™を含む物理層ベースバンドソリューションを提供し、共同開発を通じて NEC の PasoWings BS 202(パソウィングス BS202)基地局の実現に貢献しました。アレイコム提供ソリューションは WiMAX フォーラム標準プロファイルに準拠し、より優れた通信特性を経済的に実現するものです。

アレイコムの社長、ブルース・ダイセンは、「共同開発に参画し、我々の WiMAX ソリューションが市場を牽引する NEC の PasoWings BS202 基地局に組み込まれたことにより、今回の協業が成功したことを誇りに思います。」と述べ、更に「UQ コミュニケーションズがサービスを展開する政令指定都市等の環境においては、アレイコムのマルチアンテナ信号処理ソフトウェア A-MAS™、およびベースバンド技術のあらゆる面におけるこれまでに培った経験を如何なく発揮することができま

す。」と続けています。

NEC のモバイルネットワーク事業本部、主席技師長 宮原景一氏は、「アレイコムとの協業により、開発コストの削減、および開発期間の短縮を実現することができました。NEC が競争力を維持し、新しい市場を開拓する上での重要なパートナーを得ることができたと考えています。」と、述べています。

NEC は、UQ コミュニケーションズの全国的なモバイル WiMAX ネットワークを展開するために選定された、2 社のうちの 1 社です。



アレイコムについて

ArrayComm LLC は、Ygomi LLC グループ企業として、世界一の実用実績を誇るマルチアンテナ信号処理技術を核に、ワイヤレスブロードバンド通信の高度化に寄与しています。ArrayComm に関する情報は、www.arraycomm.com で入手できます。

* ArrayComm と A-MAS™ は ArrayComm LLC の商標です。

* 文中に記載されている他社の製品名、サービス名等はそれぞれ各社の商標です。

注 1: 本社: 東京都港区 代表取締役 執行役員社長: 遠藤信博

注 2: 本社: 東京都港区 代表取締役社長: 田中孝司

■ お問い合わせ先

ArrayComm LLC 日本オフィス

高橋 偉一郎 (iichiro.takahashi@arraycomm.com)

電話: 03 (6404) 8900